

J T A トピックス 2023年3月

大浦侂紫（宮崎都城 TC 中学1年）

ヘアドネーション（毛髪寄付）の取組



去る令和5年3月、宮崎都城テコンドークラブの大浦侂紫（おおうらはいじ）1級が、長年伸ばしていた髪を切り、ヘアドネーション活動に寄付しました。

ヘアドネーションとは、小児がんや白血病などの病気、不慮の事故等で髪の毛を失った子どもたちに、医療用ウィッグを無償で提供する活動です。ヘアドネーションによる医療用ウィッグは、本物の髪の毛を使用しているため、見た目や質感が自然であり、髪の毛がないことで「人に会うのが恥ずかしい」また「学校へ行きにくい」という悩みを抱えている子どもたちの社会復帰を助ける重要なアイテムとなっています。

美容師の両親からこの活動を知った彼女は、自分も人の役に立ちたいという思いから、ヘアドネーション活動の協力を始めました。ヘアドネーションに寄付する髪には「31cm以上の長さがある」「髪が完全に乾いている」などさまざまな条件があります。何より髪をしっかり手入れしながら何年も根気強く伸ばさなければなりません。侂紫が髪を寄付するのは、今回がすでに2回目とのことです。

小学校卒業を機に行った断髪式では、髪を何束かに分けて、家族全員でハサミを入れました。

その後、すっきりした髪型で中学生となった侂紫。彼女の優しさが、きっとどこかで誰かの支えになっていることでしょう。

